

□ 要請番号 (JL02622A03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	H110 薬剤師	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

大学教育科学文化省

2) 配属機関名 (日本語)

東ティモール国立大学 保健医療科学部 薬学科

3) 任地 (ディリ県ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同大学の保健技術者の養成部門として、保健医療科学部に薬学科が2014年に設立。当初は常任講師1名と35名の学生で開始したが、翌年より増え続け、2018年は120名の学生が入学、現在300名以上が在籍中。同学部が目指すのは、東ティモール国が必要とする十分な水準をもつ医療人材を輩出すること。講師の役割としては、1.教育(理論と実践を授業の中で行うこと)、2.研究(永年雇用の講師のみ)、3.コミュニティ・サービス・プログラム(実習の調整・モニタリング・評価)の3つがある。実習先は同国に6つある国立/県病院やヘルスセンター・薬局等。学生のフィールド・スタディ(村巡回等によるデータ収集など)支援も行う。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同大学への海外からの支援は少なく、講師も数えるほどしかない。現在常勤講師は2名いるのみであり、外部講師に頼っている状況である。同学部では、学生たちが経験・知識のあるボランティアから直接学ぶことで、より高い知識と技術が身につくことを期待している。現在、授業で使用する教材や資料も不足している状況であり、講義は書き取りの時間に費やされることもあり、極めて非効率である。講義や実習の質は低く、学生が得られる知識は限られているため、卒業後に病院等の現場で必要となる知識が今以上に得られるよう、協力が必要である。同国に派遣中の隊員2名が同大学の薬学科に協力して講義を行った経緯あり。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 薬学科のスケジュールに合わせた講義と実践授業(週5日、1日2-4時間、週10-20時間程度)

※現地講師と共に授業に入ることを想定しているが、状況により単独で行うこともある

※講義内容については赴任後に決定(講義はパワーポイントを使用)

2. 4年生後半に実施する実習(病院・クリニック・薬剤倉庫・薬局等での実習(約4ヶ月間))のほか、フィールド・スタディ(1.5ヶ月間)の調整、毎週の訪問によるモニタリングや評価

3. 中間・最終試験問題作成や学生の管理・評価など必要とされる支援

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

プロジェクター、薬学科のカリキュラムとシラバス、コミュニティ・サービス・プログラムのマニュアルとガイドライン、6つの教

室 ※教科書はお金のある人のみ購入

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:学科長(男性、40代、薬剤師、公衆衛生修士、教授経験16年) ※カウンターパート予定

副学科長(女性、40代、薬剤師、公衆衛生修士、教授経験8年)非常勤講師 複数名(男女、学士～博士、教授経験10-15年)

活動対象者:学生(男女、1年生120名、2年生68名、3年生78名、4年生75名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
テトウン語	テトウン語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（薬剤師）

[性別]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・パワーポイントで資料作成ができること

[学歴]：（大卒）薬学 備考：大学で教えるため

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：実習も指導・監督するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（23～32℃位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

授業は基本テトウン語で行うが、英語のレベルが高ければ英語を使用することも可能である。全員が教科書を持っているわけではないため、データ共有等が必要となる。